# 都市再生整備計画 事後評価シート チャオ周辺地区

平成23年3月

長野県中川村

# 様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名中川村			t e	地区名			チャオ周辺	地区		面積	58ha		
交付期間	平成18年度~	平成22年度	事後評価:	実施時期		平成22年度		交付対	付象事業費		522百万円	国費	率	0.4		
		295785W1W	ROTTING TOUR	ASSESSED AND	TO BENEFIT OF	and anead		The Atlan		事業名		5 SEEWING S	and an			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、	基幹事業	道路:中央清水線、天の中川河川公園線 公園:天の中川河川公園 公営住宅等整備:中央村営住宅													
	実施した事業	提案事業	地域創造支援事業 片桐診療所改築工事、子育て支援施設整備事業													
	The state of the state of		事業名					削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画基幹事業															
	削除した事業	提案事業									-					
	#C+ 1- '0 +n1	基幹事業	公園:滝戸川公園					近隣住民や来訪者の憩いの空間として、小公園を整備する。				目標を定量化する指標、数値目標として、公園利用者数を追加した。				
	新たに追加した事業	提案事業										各種施設利用者等の利便性の向上に繋がるが、各指標及び数 値目標は据え置く。				
	交付期間	当初	平成18年度~22		2年度				図口(株は知ん直へ)							
	の変更変更		- 0/4		N/AL	指標、数値目標への影響		AND STATISTICS OF A STATE	** **			T 45N±0		<b>林田外写来</b> 四		
		指標		単位	従前(	基準年度	目標		サー 数 モニタリング	値 評価値	目標 達成度	1年以		効果発現 (総合所見		フォローアップ 予定時期
	指標1	片桐診療所	市桐診療所利用者数		5,400	H17	7,500	H22		6,890	Δ	ありなし		利便性の向上により従前より利 個々のかかりつけ医があるため 増加は期待できない。むしろ健康 と、患者数の増加は決して望まし 後、中核病院との連携・機能分割	新規受診者の早急な 受増進の観点からする いことではない。今	平成23年4月
2)都市再生整備計画	指標2	若者·村外》 住	流入者の定	世帯	59	H17	64	H22		64	0	ありなし		がより重要となる。 村外から若者世帯6世帯の転入 加した。	があり流入人口が増	平成23年4月
に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指標3	天の中川河 利用者数	<b>J川公園</b>	人/年	600	H17	3,600	H22		3,950	0	ありなし		新たなイベントが開催されるよう くの人が訪れるようになった。ま の併用、園路や天竜川堤防道路 グ・サイクリング・散策などに、幅	た子育て支援施設と を利用したウォーキン	平成23年4月
	指標4	子育て支援	施設利用者	親子数/	0	H17	2,000	H22		2,450	0	ありなし		当初から子育て世帯のニーズが 後利用者の評判も良く、他市町は かったため、目標を上回る実績が	付からの利用者も多 くあった。	平成23年4月
	指標5	指標5 滝戸川公園利用者数		人/年	0	H20	400	H22		370	Δ	あり なし		開設から日が浅く知名度が低い 度は目標値の90%程度と推計され や地域住民や来訪者に潤いを与 活用を図る。	1る。今後、公園のPR	平成23年4月
3)その他の数値指標			単位	従前	直 基準年度	目標	値 目標年度	サー 数 モニタリング	値 評価値	目標 達成度	1年以		効果発現要 (総合所見		フォローアップ 予定時期	
(当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1 片桐診療所利用者満足				100	H17		, 1 14 12		190				アンケート結果では、施設の改善 等利便性の向上により、90%以上 良くなったとの評価であり、利用: 思われる。	、交通・薬局・買い物 の利用者が以前より	,,,,,,,,
4)定性的な効果	利用者へのアンケ	ート調査では	は、「生活の利化」、「診療所は、「	更性、賑わい 交通や薬局	の向上により、:	地域活性化/ 便性の向上/	への効果があっ	た、あるいに J良くなった。	今後期待する。	」との意見が多かった。	かった。特に、子	育て支援	施設は、	子供や親同士の交流、子	育ての情報交換や	相談の場として、利
発現状況 5)実施過程の評価	用者から好評を得ている。また、診療所は、「交通や薬局、買い物等の利便性の向上により、 実施内容						The property	実施状況 実施状況				15.45%	今後の対応方針等			
	モニタリ	ング	事業実施状況報告及び指標に関するモニタリング(平成20年12月) 都市再					都市再生	整備計画に記載し、実施できた 整備計画に記載はなかったが、実施した ● 必要 整備計画に記載したが、実施できなかった				必要な	なものについては、継続的に数値を把握し評価する。		
	住民参	天の中川河川公園ワーキンググループを公募し、公園の全体計画及び植 裁管理等について検討 都市					都市再生整 都市再生整 都市再生整	再生整備計画に記載し、実施できた 再生整備計画に記載はなかったが、実施した 再生整備計画に記載したが、実施できなかった					園に関して今後も住民の協力を得ていくとともに、公共事業への住民 □プロセスの参考事例としていく。			
	持続的なま 体制の		地元住民による公園維持管理団体の設立都市再					都市再生	主整備計画に記載し、実施できた 主整備計画に記載はなかったが、実施した 主整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も	も住民団体の協力を得ながら、公園の維持管理を行う。		

## 様式2-2 地区の概要

### チャオ周辺地区(長野県中川村) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標
<ul><li>【中川村の豊かな自然を享受できる定住環境を整備し、村内外の若者・高齢者がともに集い・憩い・癒す空間を創出】</li><li>村営住宅を建設することにより、若者の村外流出を防止し、また、高齢者にも対応したユニバーサルデザインとすることで、過疎化の防止及び高齢者生活環境の改善を図る。</li></ul>

- 2 国土交通省の築堤工事の影響を受けるふれあい広場及び堤防工事によって生じる堤外地(高水敷)を有効利用 することにより、村民及び周辺地域住民の憩いの場の創出を図るとともに、周辺の魅力を増すことによって商業の
- 3 老朽化した診療所の改築により、若者・高齢者を含めた村民が、健やかに暮らすことのできる住環境整備を図る。

目標を定量化する抗	標	従前値		目標値		評価値		
片桐診療所利用者数	単位: 人/年	5,400	H17	7,500	H22	6,890	H22	
若者・村外流入者の定住	単位: 世帯	59	H17	64	H22	64	H22	
公園利用者数(天の中川河川公園)	単位: 人/年	600	H17	3,600	H22	3,950	H22	
子育て支援施設利用者	単位: 親子数/ 在	0	H17	2,000	H22	2,450	H22	
公園利用者数(滝戸川公園)	単位: 人/年	0	H20	400	H22	370	H22	
片桐診療所利用者満足度	単位: 人/年	100	H17	-	H22	190	H22	



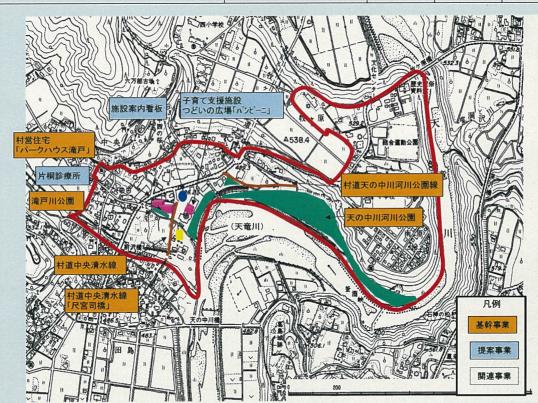
(片桐診療所、村営住宅)



(滝戸川公園)



(村道中央清水線)





(子育て支援施設 バンビーニ)



(天の中川河川公園)

### まちの課題の変化

公園、診療所、子育て支援施設、公営住宅、及び周辺道路の整備により、生活の利便性が向上し、若者から高齢者まで安心して健やかに定住できる居住環境が整備された。また、村外からの集客を図るため、村の活性化拠点と して地域の魅力が向上した。今後、引き続き若者定住促進のための公営住宅等の供給、公園利用促進のための施策や環境整備が課題である。

- ◆整備された施設を有効に活用し、周辺施設と連携を図りながら、村内外から多くの人が訪れるにぎわいのあるまちづくりを進める。 ◆公園のPRを行い利用促進を図るとともに、村内をはじめ村外団体等によるイベントを積極的に招致し、地域の活性化と交流人口の増加を図る。
- ◆引き続き低廉で優良な公営住宅等を供給し、若者の流出抑制や村外からの移住の促進を図る。
- ◆診療所については、近隣の中核病院との連携と機能分担を図り、身近な1次医療機関として地域医療の確保と利用促進を図る。また、行政と医療機関が連携を図りながら、住民の健康増進を進める。

### 今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)